2015年度の産学連携プログラムの実施状況

Industry-University Consortium on Logistics

流通経済大学流通情報学部では、2010 年度からロジスティクス産学連携プログラムを正式に立ち上げました。今年度が6年目であり、プログラムが確実に定着してきました。プログラムの講師は、ロジスティクス関連の業界団体、物流業、運輸業、メーカー、卸売業、小売業、コンサルタントなど、企業を中心とした幅広い人材で構成されております。

ロジスティクス産学連携プログラムとして、「ロジスティクス実践講座」、「物流マネジメント実践講座」、「国際物流実践講座」、「情報システム実践講座」、「ダイレクトマーケティング実践講座」、「ロジスティクス企業訪問講座」、「ロジスティクス改善演習」の7科目、さらに関連する寄付講座として、「日本通運寄付講座」、「全国通運連盟寄付講座」の2科目があります。2015 年度の実施状況の概要をご報告させていただきます。なお、「日本通運寄付講座」は、春学期に龍ヶ崎キャンパス、秋学期に新松戸キャンパスで開講し、全15回、日通総合研究所の長谷川雅行氏に講義をしていただきました。

①「ロジスティクス実践講座」の2015年度の実施状況

「ロジスティクス実践講座」は、荷主企業等を中心にロジスティクス実務者を招き、各企業のロジスティクスシステムの現状を学び、ロジスティクスの考え方を現場から考えていくことを目標としています。また、環境問題あるいは災害時対応といった新たな問題についても学びます。ロジスティクス実践講座Ⅰが春学期、ロジスティクス実践講座Ⅱが秋学期に、龍ヶ崎、新松戸の両キャンパスで開講しました。各回のテーマ、講師は表１、表２のとおりです。新松戸の受講生数は春学期52人、秋学期43人でした。龍ヶ崎の受講生数は春学期36人、秋学期35人でした。

②「物流マネジメント実践講座」の2015年度の実施状況

「物流マネジメント実践講座」は、トラック、鉄道、３ＰＬ等の物流事業者及び有識者を招き、ロジスティクス管理に関する現状を学ぶことを目標としています。また、企業の物流戦略や多様な物流サービスの事例といった最新の動きについても学びます。半期科目であり、春学期は新松戸キャンパスで、秋学期は龍ヶ崎キャンパスで開講しました。各回のテーマ、講師は表３、表４のとおりです。新松戸の受講生数は55人、龍ヶ崎の受講生数は13人でした。

③「国際物流実践講座」の2015年度の実施状況

「国際物流実践講座」は、国際物流に携わる経営者、実務経験者を講師として招聘し、国際物流における最新動向、事例により、国際物流の現状と課題を把握するとともに今後

表1　「ロジスティクス実践講座ー龍ヶ崎」の2015年度の実施結果

回	テーマ	講師
1	ロジスティクス実践講座ガイダンス	流通経済大学　矢野裕児
2	ロジスティクス概論	元日本ロジスティクスシステム協会　石井徹郎氏
3	企業のロジスティクス戦略の変遷ー1	日通総合研究所　廣瀬吉英氏
4	企業のロジスティクス戦略の変遷ー2	日通総合研究所　廣瀬吉英氏
5	トラック輸送の実態とドライバー不足問題について	日通総合研究所　大島弘明氏
6	流通業におけるロジスティクスの展望	ロジスティクス経営士　楠堂昌純氏
7	物流改善のポイントはー1	紙中コンサルティング　紙中英伸氏
8	物流改善のポイントはー2	紙中コンサルティング　紙中英伸氏
9	ロジスティクス企業に期待されていること	日通情報システム　藤田光樹氏
10	ロジスティクスと包装	ティ・エス・ケイ　橋爪文彦氏
11	ロジスティクスの最新動向	山田経営コンサルティング事務所　山田健氏
12	ロジスティクスと環境ー資源有効利用とロジスティクスー	みずほ情報総研　秋山浩之氏
13	ロジスティクスと環境ー環境問題とグリーン物流ー	ロジスティクス革新パートナーズ　菅田勝氏
14	ロジスティクスと環境ーリコーロジスティクス環境活動事例ー	ロジスティクス革新パートナーズ　菅田勝氏
15	春学期まとめ	流通経済大学　矢野裕児
16	食品の安全と物流効率を実現した「駅ナカ」「百貨店」向けサプライチェーンの取組み	ロジスティクス・ネットワーク　立川哲二氏
17	物流不動産ビジネス	イーソウコ　大谷巌一氏
18	ロジスティクスファイナンスについて	日通キャピタル　及川浩史氏
19	加工食品コールドチェーンにおける課題とその改善策について	物流環境管理士　櫻井保氏
20	中小企業の生き残りをかけた取り組み	十和運送　結束洋氏
21	沖縄の立地特性 と企業人材育成	あんしん　雨宮路男氏
22	中間とりまとめ	流通経済大学　矢野裕児
23	物流改善の実際	紙中コンサルティング　紙中英伸氏
24	菓子物流のネットワーク価値の拡大	スナックフードサービス　一山幸市氏
25	卸売業にとっての物流システム	国分　山田英夫氏
26	変化に対応する花王のSCM　ビデオ	花王　山口裕人氏
27	フード業界企業間電子商取引(BtoB)プラットフォーム「FOODS InfoMart」	インフォマート　藤田尚武氏
28	都市内物流の効率化について	日通総合研究所　大島弘明氏
29	食品物流の課題と今後の動き	ハウス物流サービス　早川哲志氏
30	まとめ	流通経済大学　矢野裕児

表2　「ロジスティクス実践講座ー新松戸」の2015年度の実施結果

回	テーマ	講師
1	ロジスティクス実践講座ガイダンス	流通経済大学　矢野裕児
2	ロジスティクスの基礎知識	流通経済大学　矢野裕児
3	ロジスティクス概論	元日本ロジスティクスシステム協会　石井徹郎氏
4	企業のロジスティクス戦略の変遷ー1	日通総合研究所　廣瀬吉英氏
5	企業のロジスティクス戦略の変遷ー2	日通総合研究所　廣瀬吉英氏
6	トラック輸送の実態とドライバー不足問題について	日通総合研究所　大島弘明氏
7	流通業におけるロジスティクスの展望	ロジスティクス経営士　楠堂昌純氏
8	物流改善のポイントはー1	紙中コンサルティング　紙中英伸氏
9	物流改善のポイントはー2	紙中コンサルティング　紙中英伸氏
10	ロジスティクス企業に期待されていること	日通情報システム　藤田光樹氏
11	ロジスティクスの最新動向	山田経営コンサルティング事務所　山田健氏
12	ロジスティクスと環境ー環境問題とグリーン物流ー	ロジスティクス革新パートナーズ　菅田勝氏
13	ロジスティクスと環境ーリコーロジスティクス環境活動事例ー	ロジスティクス革新パートナーズ　菅田勝氏
14	ロジスティクスと環境ー資源有効利用とロジスティクスー	みずほ情報総研　秋山浩之氏
15	春学期まとめ	流通経済大学　矢野裕児
16	食品の安全と物流効率を実現した「駅ナカ」「百貨店」向けサプライチェーンの取組み	ロジスティクス・ネットワーク　立川哲二氏
17	物流不動産ビジネス	イーソウコ　大谷巌一氏
18	ロジスティクスと包装	ティ・エス・ケイ　橋爪文彦氏
19	流通情報学部20年記念シンポジウム	
20	酒類・加工食品業界と味の素グループのロジスティクス	ファイネット　恒吉正浩氏
21	卸売業にとっての物流システム	国分　山田英夫氏
22	中間とりまとめ	流通経済大学　矢野裕児
23	中小企業の生き残りをかけた取り組み	十和運送　結束洋氏
24	菓子物流のネットワーク価値の拡大	スナックフードサービス　一山幸市氏
25	変化に対応する花王のSCM	花王　山口裕人氏
26	フード業界企業間電子商取引(BtoB)プラットフォーム「FOODS InfoMart」	インフォマート　藤田尚武氏
27	都市内物流の効率化について	日通総合研究所　大島弘明氏
28	物流改善の実際	紙中コンサルティング　紙中英伸氏
29	まとめ	流通経済大学　矢野裕児
30	食品物流の課題と今後の動き	ハウス物流サービス　早川哲志氏

表3　「物流マネジメント実践講座ー春学期、新松戸」の2015年度の実施結果

回	テーマ	講師
1	ガイダンス	流通経済大学　小野秀昭
2	講座受講に必要な知識	流通経済大学　小野秀昭
3	トラック運送産業の概要	運輸・物流研究室　中田愛子氏
4	市場流通の動向と市場物流の実際	コンサル　アグリ　藤井憲雄氏
5	ロジスティクス分野のIT活用事例	野村総合研究所　足立研二氏
6	鉄道貨物輸送の仕組みとJR貨物の取り組み	日本貨物鉄道　和田智秀氏
7	内航海運の現状	海上技術安全研究所　間島隆博氏
8	3PLの役割と実例	川崎陸送　樋口恵一氏
9	経営戦略の中での物流の位置づけ/役割	金方堂運輸　松本有司氏
10	宅配便の開発と成長過程	ヤマト運輸　江口真一氏
11	物流における倉庫の役割	日本倉庫協会　田代信行氏
12	重量品輸送	日通総合研究所　福島茂明氏
13	メーカーと物流子会社の関係・役割	ファイネット　恒吉正浩氏
14	TVドキュメント(物流テーマ)について討論	流通経済大学　小野秀昭
15	講座の復習とまとめ	流通経済大学　小野秀昭

表4　「物流マネジメント実践講座ー秋学期、龍ヶ崎」の2015年度の実施結果

回	テーマ	講師
1	ガイダンス	流通経済大学　小野秀昭
2	講座受講に必要な知識	流通経済大学　小野秀昭
3	重量品輸送	日通総合研究所　福島茂明氏
4	トラック運送産業の概要	運輸・物流研究室　中田愛子氏
5	トラック運送業界における安全と環境への対応	東京都トラック協会　井上豪氏
6	宅配便の開発と成長過程	ヤマト運輸　原田力氏
7	鉄道貨物輸送の仕組みとJR貨物の取り組み	日本貨物鉄道　和田智秀氏
8	物流における倉庫の役割	日本倉庫協会　田代信行氏
9	ロジスティクス分野のIT活用事例	野村総合研究所　足立研二氏
10	3PLの役割と実例	川崎陸送　樋口恵一氏
11	内航海運の現状	海上技術安全研究所　間島隆博氏
12	市場流通の動向と市場物流の実際	コンサル　アグリ　藤井憲雄氏
13	講座の復習とまとめ	流通経済大学　小野秀昭
14	講座の復習とまとめ　TVドキュメント	流通経済大学　小野秀昭
15	講座の復習とまとめ	流通経済大学　小野秀昭

表5　「国際物流実践講座ー春学期、新松戸」の2015年度の実施結果

回	テーマ	講師
1	ガイダンス	流通経済大学　林克彦
2	船会社の国際物流戦略	オーシャントランス　辰巳順氏
3	国際物流サービス	流通経済大学　林克彦
4	ロシアの最新物流事情	環日本海経済研究所　辻久子氏
5	商社の国際物流管理	住友商事　河野達也氏
6	航空会社の国際物流戦略	ANA Cargo　嶋崎聡氏
7	ASEANの最新物流事情	日通総合研究所　細山田優氏
8	インテグレータの国際物流戦略	FedEx　山口邦夫氏
9	中間まとめ	流通経済大学　林克彦
10	航空フォワーダーの国際物流戦略	日本通運　簑島宏氏
11	海上貨物フォワーダーの国際物流戦略	日本通運　織田博文氏
12	物流企業の海外展開（中国）	日本通運　小林克人氏
13	米国の最新物流事情	日通総合研究所　田阪幹雄氏
14	欧州の最新物流事情	流通経済大学　林克彦
15	講義のまとめ	流通経済大学　林克彦

の展望を学修することを目標としています。春学期に半期科目として、新松戸キャンパスで開講しました。各回のテーマ、講師は表５のとおりです。受講生数は40人でした。

④「情報システム実践講座」の2015年度の実施状況

「情報システム実践講座」は、物流分野などに利用されている情報システムやその要素

表6　「情報システム実践講座ー春学期、新松戸」の2015年度の実施結果

回	テーマ	講師
1	ガイダンス	流通経済大学　増田悦夫
2	IT業界での職務内容と企業研究	ヒューマネテック　松下雄二氏
3	物流の効率化とこれからの取り組み	日通総合研究所　要藤洋文氏
4	SCMにおける情報セキュリティの課題	飛天ジャパン　傘義冬氏
5	物流標準規格と情報システム	オフイス・ロン　吉本隆一氏
6	ロジスティクスと情報システム	フレームワークス　秋葉淳一氏
7	物流作業におけるスマートデバイス物流情報機器導入について	日立物流ソフトウェア　小林道明氏
8	Webシステム開発の現状と今後	ヒューマネテック　田中裕樹氏
9	パレットにおけるRFIDの利用	日本パレットレンタル　永井浩一氏
10	物流品質の向上 ～人材、プロセス、テクノロジーで期待を超えるサービスの探求～	日本ユニシス　吉川泰一氏
11	TMSの現状と将来	光英システム　池田勝彦氏
12	ITを活用したロジスティクス戦略立案	日本ビジネスクリエイト　後藤一孝氏
13	物流現場力強化のための物流技術	MTI　粟本繁氏
14	本人認証学入門	エスアイリサーチ、きさいや　宇都宮康夫氏
15	講義のまとめ	流通経済大学　増田悦夫

表7　「情報システム実践講座ー秋学期、龍ヶ崎」の2015年度の実施結果

回	テーマ	講師
1	ガイダンス	流通経済大学　増田悦夫
2	ITを活用したロジスティクス戦略立案	日本ビジネスクリエイト　後藤一孝氏
3	ロジスティクスと情報システム	フレームワークス　秋葉淳一氏
4	物流デジタルイノベーションの幕開け ～データ分析と新たなデジタル活用～	日本ユニシス　岡根亜矢子氏
5	SCMにおける情報セキュリティの課題	飛天ジャパン　傘義冬氏
6	TMSの役割と活用	光英システム　池田勝彦氏
7	パレットにおけるRFIDの利用	日本パレットレンタル　永井浩一氏
8	物流作業におけるスマートデバイス物流情報機器導入について	日立物流ソフトウェア　小林道明氏
9	物流情報システムに関する標準規格概論	オフイス・ロン　吉本隆一氏
10	Webシステム開発の現状と今後	ヒューマネテック　田中裕樹氏
11	本人認証学入門	エスアイリサーチ、きさいや　宇都宮康夫氏
12	物流現場力強化のための物流技術	MTI　粟本繁氏
13	物流の効率化とこれからの取り組み	日通総合研究所　要藤洋文氏
14	講義のまとめ	流通経済大学　増田悦夫

表8　「ダイレクトマーケティング実践講座」の2015年度の実施結果

回	テーマ	講師
1	ガイダンス（講義の進め方と講義の対象・課題）	矢野裕児
2	データでみる通販市場	日本通信販売協会　三浦千宗氏
3	通信販売市場の動向とオムニチャネル化	日本通信販売協会　柿尾正之氏
4	ダイレクトマーケティングとロジスティクス	矢野裕児
5	オットージャパンの国内・海外でのフルフィルメントサービスとその事例ー顧客に求められるフルフィルメントサービスとは?ー	オットージャパン　勝井武二氏
6	スクロールの変遷と今後の展開	スクロール　高山隆司氏
7	髙島屋通販事業の歩みと百貨店通販のこれからの展望	高島屋　倉田宏之氏
8	インターネット通販の展開	千趣会　中山茂氏
9	スマホが変えたネットコマースと越境ECの可能性	スタイルビズ　青山直美氏（村山らむね）
10	オムニチャネルとラストマイル	矢野裕児
11	メーカー系通販の展開	ライオン　乗竹史智氏
12	顧客満足作りのポイントー『購入後満足』と『個性化』をいかに具体化するかー	カタログハウス　松尾隆久氏
13	顧客対応からみた通販	日本通信販売協会　八代修一氏
14	まとめ	矢野裕児
15	ファンケル関東物流センターの見学	矢野裕児

技術などに関わる実務者を講師として招き、具体的事例を通して最近の動向や課題などについて学びます。また、システムやネットワークの設計・開発の手法についても学びます。半期科目であり、春学期は新松戸キャンパスにて、秋学期は龍ヶ崎キャンパスにて開講しました。各回のテーマ、講師は表６、表７のとおりです。新松戸の受講生数は46人、龍ヶ

表9　「ロジスティクス企業訪問講座」の2015年度の実施結果

回	テーマ	訪問先、講師
1	企業訪問講座ガイダンス-1 ・企業訪問講座の全体像 ・訪問場所のロジスティクスの概要	流通経済大学　矢野裕児、洪京和
2	企業訪問講座ガイダンス-2 ・訪問スケジュール ・訪問時の注意事項	流通経済大学　矢野裕児、洪京和
3	鉄鋼メーカーの工場見学	新日鉄住金　鹿島工場
4	港湾の見学	鹿島港
5	物流改善事例の説明、物流機器の見学	トヨタL&F　カスタマーズセンター
6	小売業の物流センター見学	カスミ　中央流通センター
7	食品メーカーの物流センター見学	味の素　久喜物流センター
8	菓子メーカーの物流センター見学	スナックフードサービス　物流センター
9	東京ミッドタウン共同荷受けの見学	佐川急便
10	鉄道貨物駅の見学	東京貨物ターミナル駅
11	メーカーから物流業務を委託された物流センターの見学	トーワ流通　小絹センター
12	通信販売の物流センターの見学	ファンケル　関東物流センター

崎の受講生数は12人でした。

⑤「ダイレクトマーケティング実践講座」の2015年度の実施状況

「ダイレクトマーケティング実践講座」は、近年、市場が大きく拡大している通信販売、ネット販売といったダイレクト・マーケティングをテーマに、通販業界の実務家を招き、講義を進めます。ダイレクト・マーケティングの進展は、小売業における店舗型から無店舗型への変化というだけでなく、メーカー、卸、小売のサプライチェーン、さらに物流業に大きな影響をもたらしつつあります。本講座は、このような展開を、広く学んでいきます。半期科目であり、春学期に新松戸キャンパスで開講しました。また、9月にファンケルの物流センターを見学しました。各回のテーマ、講師は表８のとおりです。受講生数は70人でした。なお、本講座は日本通信販売協会が後援しています。

⑥「ロジスティクス企業訪問講座」の2015年度の実施状況

企業がロジスティクスをどのように考え、システムを構築しているかについて、企業訪問を通じて考察します。実際の現場を訪問することによって、学生が実感として理解することを目標としています。2015年度は10箇所を訪問し、現場でロジスティクス担当者が概説し、物流現場を実際に見学しました。半期科目で、企業訪問を実施することから、夏季休暇中の9月に集中講義で、開講しました。各回のテーマ、訪問先は表９のとおりです。新松戸の受講生数は5人、龍ヶ崎の受講生数は2人でした。

⑦「ロジスティクス改善演習」の2015年度の実施状況

「ロジスティクス改善演習」では、物流部門の現場で発生する課題を題材として取り上げ、現状の問題点の整理を行い、各種手法を用いて改善案を検討します。この演習を受講することにより、物流システムに関する理解を深め、分析手法を習得するとともに、分析能力や改善案を提案できる能力を習得することを目標としています。半期科目として、新松戸キャンパスで実施しました。各回の内容は表10のとおりで、受講生数は38人でした。

表10　「ロジスティクス改善演習」の2015年度の実施結果

回	項目	内容
1	はじめに	授業のテーマと目標、実施方法、評価基準等を理解する。
2	ミニチュアモデルによる設備配置1	方眼紙を用いて、倉庫およびラックのミニチュアモデルを作成する。
3	ミニチュアモデルによる設備配置2	ミニチュアモデルを用いたシミュレーションを用いてにより、物流施設内のラック配置を設計する。
4	ミニチュアモデルによる倉庫設備3	総移動距離などを算出し,提案した設計案を評価し、レポートを作成する。
5	RALCによるラック配置設計1	ミニチュアモデルにより作成したラック配置案に対応するRALCシミュレーションモデルを作成し、シミュレーションを行い、設計案を評価する。
6	RALCによるラック配置設計2	RALC上で、ラック配置を改善したモデルを作成し、シミュレーションを行い、改善案を評価する。
7	RALCによるラック配置設計3	RALCシミュレーションの各モデルについて分析し、レポートを作成する。
8	サプライチェーンゲーム 1	サプライチェーンゲーム（ビールゲーム）の概要を理解し、ゲームの実施方法を習得する。
9	サプライチェーンゲーム 2	サプライチェーンゲームを実施する。
10	サプライチェーンゲーム 3	サプライチェーンゲームを実施する。
11	サプライチェーンゲーム 4	エクセルを用いて、ゲームの結果を評価・分析し、レポートを作成する。
12	物流とCO_2排出	物流部門におけるCO_2排出量の計算法を学習する。
13	モーダルシフトによるCO_2排出量の削減1	事例データを用いて、モーダルシフトによるCO_2排出量の削減量を算出する。
14	モーダルシフトによるCO_2排出量の削減2	モーダルシフトによるCO_2排出量の削減に関するレポートを作成する。
15	まとめ	全体のまとめを行う。

⑧「全国通運連盟寄付講座」の2015年度の実施状況

「全国通運連盟寄付講座」は、鉄道貨物輸送をテーマとして、物流博物館、ＪＲ貨物、鉄道利用運送事業者、荷主企業の実務者を招き、鉄道貨物輸送の現状、課題、今後の展望を広く学びます。半期科目であり、新松戸キャンパスで開講しました。各回のテーマ、講師は表11のとおりです。下記の講義以外に夏休み期間中に、事前講習として東京貨物ターミナル駅の見学を実施しました。受講生数は44人でした。

表11　「全国通運連盟寄付講座」の2015年度の実施結果

回	テーマ	講師
1	ガイダンス	流通経済大学　林克彦
2	物流の歴史（1）	物流博物館　玉井幹司氏
3	物流の歴史（2）	物流博物館　玉井幹司氏
4	物流事業及び鉄道利用運送事業の概要について（1）	日本通運　西本健二氏
5	物流事業及び鉄道利用運送事業の概要について（2）	芳賀通運　塚本貴士氏
6	物流事業及び鉄道利用運送事業の概要について（3）	SBSロジコム　青柳大氏
7	物流事業及び鉄道利用運送事業の概要について（4）	丸運　岡本将一氏
8	物流事業及び鉄道利用運送事業の概要について（5）	センコー　川瀬由洋氏
9	物流事業及び鉄道利用運送事業の概要について（6）	磐城通運　鈴木孝雄氏
10	JR貨物に関する知識（1）	JR貨物　高澤弘人氏
11	JR貨物に関する知識（2）	JR貨物　和田智秀氏
12	荷主企業における物流と鉄道コンテナ輸送（1）	イオングローバルSCM　坪井康彦氏
13	荷主企業における物流と鉄道コンテナ輸送（2）	ブルボン　稲田浩氏
14	日本経済と鉄道貨物輸送ネットワークのあり方について	流通経済大学　林克彦
15	講義のまとめ	流通経済大学　林克彦